

基礎看護学（健康科学領域）

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	3 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	1 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	5 人	

2 教員の異動状況

- 渡邊 泰秀（教授）（H14.6.1~現職）
三浦 克敏（教授）（H18.4.1~現職）
永田 年（教授）（H18.4.1~現職）
山下 寛奈（助教）（H17.10.1~19.3.31 助手；19.4.1~現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	10.00	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	1 編	
そのインパクトファクターの合計	5.04	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Miura K, Yamamoto S: A scanning acoustic microscope discriminates cancer cells in fluid. Scientific Reports, 19(5); 15243, 2015. [5.58]
 2. Miura K, Egawa Y, Moriki T, Mineta H, Harada H, Baba S, Yamamoto S: Microscopic observation of chemical modification in sections using scanning acoustic microscopy. Pathological International 65(7); 355-366, 2015. [1.69]
 3. Ikeda M, Enomoto N, Hashimoto D, Fujisawa T, Inui N, Nakamura Y, Suda T, Nagata T: Nontypeable *Haemophilus influenzae* exploits the interaction between protein-E and vitronectin for the adherence and invasion to bronchial epithelial cells. BMC Microbiology 15:263, 2015, DOI 10.1186/s12866-015-0600-8 [2.73].

インパクトファクターの小計 [10.00]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

（2-1）論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Miura K, Tsuchida T, Yamamoto S: A scanning acoustic microscope - A novel tool for cytological discrimination. FASEB Journal 29 (1) suppl LB459 (5.04)
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

（4）著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 三浦克敏 スタンダード病理学 第4版 感覚器疾患 p 518-522 2015、文光堂
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成27年度	
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	2件	(240万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件	(0万円)
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0件	(0万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0件	(0万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0件	(0万円)
(6) 財団助成金	0件	(0万円)
(7) 受託研究または共同研究	0件	(0万円)
(8) 奨学寄附金	0件	(0万円)

(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

三浦克敏 (代表者) 基盤研究 (C)、超音波顕微鏡を用いて組織の加齢性変化を描出する、平成27年度～平成29年度、平成27年度：130万円 (新規)

永田 年 (代表者) 基盤研究 (C)、インフルエンザ菌の気道上皮細胞内寄生と細胞傷害性T細胞応答の解析、平成26年度～平成28年度、平成27年度：110万円 (継続)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	1件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	2件
(6) 一般演題発表数	2件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

ポスター発表

1. Seto S, Nagata T, Koide Y: *Mycobacterium tuberculosis* escapes from autophagic target by hijacking the function of the host actin binding protein Coronin-1a. US-Japan Cooperative Medical Science Program. TB, Leprosy Panel Meeting. January 13-14, 2016, Bethesda, MD, USA.
2. Miura K, Tsuchida T, Yamamoto S: A scanning acoustic microscope-A novel tool for cytological discrimination. EB2015 March 28- April 1, 2016, Boston USA.

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名

渡邊泰秀：第 89 回日本薬理学会年会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

三浦克敏：日本病理学会評議員、バイオ超音波顕微鏡研究会 副代表

渡邊泰秀：日本生理学会評議員、日本薬理学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	4 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

1. 永田、Journal of Vaccines & Vaccination（米国）Editorial Board
2. 永田、World Journal of Immunology（中国）Editorial Board
3. 永田、Journal of Immune Research（米国）Editorial Board
4. 三浦、Scientific Reports(英国) Editorial Board

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー永田、3 件、Microbiology and Immunology（日本）

1. 永田、3 件、FEMS Microbiology Letters（英国）
2. 永田、3 件、British Microbiology Research Journal（英国）
3. 永田、11 件、World Journal Series（中国）
4. 三浦、3 件、Scientific Reports(英国)

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	2 件

(2) 国内共同研究

1. キヤノンとテラヘルツ波の顕微鏡観察応用について共同研究を行なっている。(三浦克敏)

(3) 学内共同研究

1. 感染症学講座（感染制御学分野）と「結核菌の細胞内寄生メカニズム」をテーマに共同研究をした。
（菅谷圭子、永田 年）
2. メディカルフォトンクス研究センター（イノベーション光医学研究室）形成外科、肝臓内科、呼吸器内科と超音波顕微鏡に関する共同研究を行っている。(三浦克敏)

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 超音波顕微鏡を用いた組織や細胞の観察で、英文論文を 2 編発表し、その他国際学会で 1 回発表をおこなった。(三浦)

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道